

認知症作業療法ステップアップ研修会 アンケート報告

参加総数 54名
アンケート提出 50名 (回答率:92.6%)

1、属性について

①所属県士会

宮崎	48
鹿児島	2

③年齢

20歳代	19
30歳代	17
40歳代	9
50歳代	3
無回答	2

④所属施設(重複あり)

病院	13
急性期	9
回復期	13
維持期	8
老健	5
特養	5
訪問リハ	1
通所リハ	6
訪問看護ステーション	2
通所介護	1
自宅	1
その他	1

⑤経験年数

1～5年	23
6～10年	11
11～15年	9
16～20年	3
21～25年	2
26年以上	2

⑥認定OT資格の有無

有	3
無	46

2、研修について

1)研修内容について

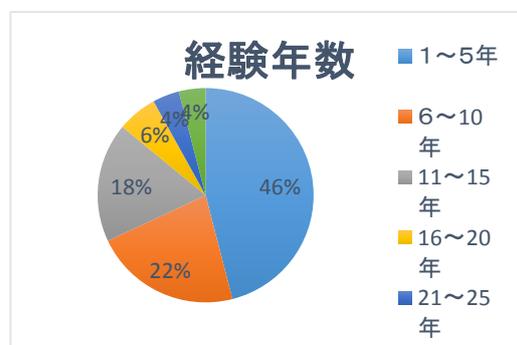
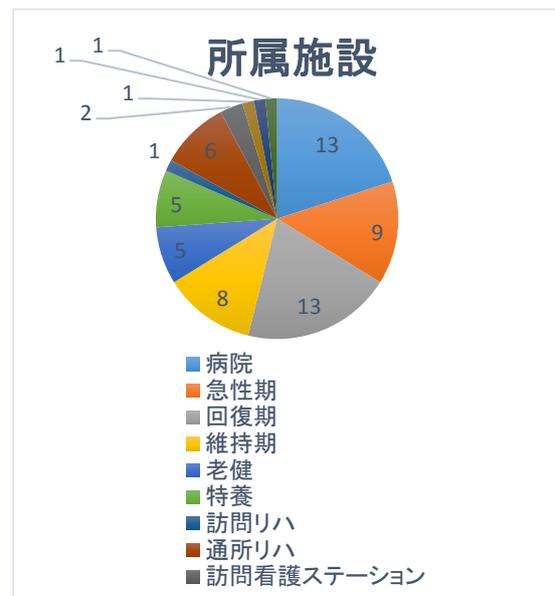
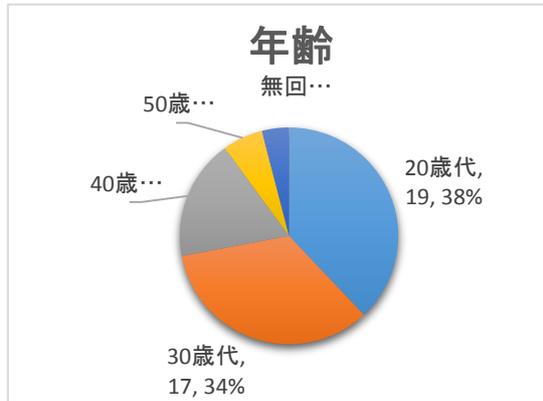
満足	32
ほぼ満足	10
普通	9
やや不満足	0
不満足	0

2)理解度

良く理解できた	14
ほぼ理解できた	16
理解できた	14
あまり理解できなかった	1
理解できなかった	0

②性別

男性	21
女性	28



3)感想・ご意見

- ・作業について目的・手段の整理ができました。
- ・評価時の参考になりました。認知症グループでの活動をしているのでレベルの確認アプローチを再び検討したいと思いました。
- ・PALの方法を知ること、今後の臨床で認知症を呈している方に導入していきたいと思いました。
- ・身障の回りハで勤務する中で、中等度～重度の認知症患者様を担当することがあり、身体機能運動と認知面に対するリハビリ、両方を考慮したプログラムに日々悩んでいます。今回研修に参加し、情報収集や観察によりその患者様にとって意味ある作業を探すことの大切さを再度感じました。ありがとうございました。
- ・OTとして必要な作業について考えることが出来ました。PALにとっても興味がわき、臨床で生かしていけないか、勉強していきたいです。
- ・例にてPALチェックリストを実際に使い分かりやすかったです。
- ・とても分かりやすい説明・内容でした。今まで認知症の方への評価としてMMSEしか使っていませんでしたが、ほかの評価もしてみたいと思います。その方の個人因子や必要な作業を大切に介入していきたいです。
- ・患者様の生活歴を知る事から大切にしていきたいと改めて感じました。
- ・PALは評価のツールとして初めて知り、総合的に評価でき、ぜひ臨床で使ってみたいと思いました。事例を見ながら、チェックリストを付ける場面でも先生の丁寧な説明により分かりやすく、参加させて頂きよかったです。
- ・認知症の方の介入で本人さまのニーズの聞き取りが難しく感じるが多かったので、今回、その部分の話を聞くことができてよかった。
- ・改めて”作業に焦点をあてる”と言う事の大事さを考えさせられました。
- ・今までの認知症の勉強会と違って、漠然としておらず、作業を提供していく上でとても大事な指標となりそうだなと感じた。高次脳機能などでも机上評価ができない人も多いので、もう少し勉強して活用してみたいと思った。
- ・理解するのに少し整理が必要な部分があったが、PALはぜひ使ってみたいし、考え方を補助できるものだなと感じた。
- ・とても満足できる内容の上、研究やエビデンスの必要性を再確認しました。ありがとうございました。
- ・身障分野で勤務の為、認知症を持つ方と接する機会は少ない状況ですが、担当になった際に介入で困難を感じることも多いです。ステップアップ研修はとてもありがたいです。また、実例などあり、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・作業療法とは作業とは何か、もう一度考える良い機会でした。ありがとうございました。
- ・認知症に関する評価・介入について、いろいろなヒントや情報を学ぶ事が出来ました。急性期病棟でも使えるアイデアがありました。生活歴をしっかりと把握することの重要性を再確認できました。ありがとうございました。
- ・評価やプロセスがとても重要であることが、改めて理解できた。
- ・認知症患者の作業を振り返れたり、PALの紹介など分かり易かった。
- ・軽度認知症だけでなく、重度認知症やBPSDが強い人の作業もしれてよかった。
- ・認知症の方のはもちろん、それ以外の方にも活用していける考え方を学ばせていただきました。臨床に活かしていきたいです。
- ・現在、PAL評価法のみ使用しています。研修の中でもらった資料で評価を行っていたので使用中も疑問を持っていましたが、先生のお話で解決しました。PALの個人史プロフィールのことをまだ知らなかったの、本を購入してみたいと思います。項目が多かったのでどのように聞いているのか知りたかったです。
- ・資料の印刷の関係が見え辛いところがあるので、もっと見やすいと助かります。しかし、かなり充実した研修内容でとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・分かりやすく、丁寧に説明して下さい、ありがとうございました。
- ・若年性アルツハイマー型認知症の方を担当しており、発症7年目で重度のケースのOTに悩んでいたの、今回の勉強会は大変参考になりました。OTとしての視点、意味ある活動をみだして関わっていきたくて考えています。
- ・とても面白かったです。現場でのリハに明日から取り入れて生きたいと思いました。
- ・PALを用いた評価法について、実際に評価の事例があり、分かりやすかったです。
- ・自分が行っているものが本当にOTなのか疑問をもった。作業について考える良い機会になった。

- ・認知症に対するアプローチについて、歴史やガイドラインから説明していただき、とても勉強になりました。日々認知症の方と接するので、今後の臨床に活かしていきたいと感じました。
- ・作業療法の目的など基本について、改めて考えることができました。また、PALチェックリストを使うことで作業参加に導く一つのツールとして、今後つかっていったらと思います。
- ・実際に臨床に活かせるような考え方や、分かりやすい事例があり、理解しやすかった。
- ・PALの評価は早速、患者様に当てはめて、意味ある作業が提供できればと思います。
- ・認知症患者へのアプローチの仕方や他職種との連携について学ぶ事ができた。
PALを使用してみようとおもった。
- ・観察の大切さが良く分かり、作業療法士としての専門性・独自性を解説していただけて良かったです。身障・回復期の経験談が実際の今の自分と重なりました。
- ・現在働いている病院は、重度認知症で年齢も高く、介入や評価法も既存のものでは通用しないことが多く、今回の研修で得たものは大きかったです。また、連携(他職種)が人手不足等でうまくいかなかったり、協力を得られにくい事もあり、情報共有することが難しい状況です。そのため、PAL等の評価を使って共通意識を持つことに繋げていきたいです。今回はありがとうございました。
- ・認知症に対する評価・アプローチまで(ブレードなど)しることができた。PAL活動レベルなども知る事ができ、今度の臨床で活かしていきたい。

4) 今後希望する認知症関連の研修企画

- ・集団プログラムの進め方
- ・認知所の方へのOTアプローチ(症例)
- ・地域での認知症OT(在宅生活者など)
- ・認知症の方とトイレ事情について学びたいです。(トイレ訴えの頻回な方への介入について)
- ・A-QOAの評価法の勉強会
- ・小川真寛先生にぜひまた講義をして頂きたいです。ありがとうございました。
- ・知識も実践もどちらも興味があります。
- ・通所リハ等の集団の場合での作業療法
- ・集団リハの場合に重度認知症患者が含まれている場合の作業
- ・重度認知症患者の事例
- ・重度認知症患者に対するOT
- ・色々な事例(良かったことも、上手くいかなかったことも含め)
- ・宮崎で認知症を持つ人達が利用できる社会資源を知りたいです。